

県営住宅リニューアル事業（全面的リフォーム）の整備効果について

今後も維持管理が必要なS40年代以前に建設し、老朽化した県営住宅において、順次、入浴設備の設置や設備断熱改修などを行い、**居住環境の向上**を図っています。

【事業概要】 県営住宅みすず台団地リニューアル事業（上田市蒼久保）

- 事業期間：平成25（2013）～29（2017）年度
- 事業実績：間取り3K 112戸 ⇒ 1戸1（1LDK）44戸、2戸1（3DK）34戸 計78戸
※2戸1：従前の2住戸を1住戸とした規模増改善

●事業内容：1戸1の例

浴室（入浴設備無）
台所（設備の老朽化）
壁・床・天井の断熱材無

間取り・設備改善（UB、3点給湯等）

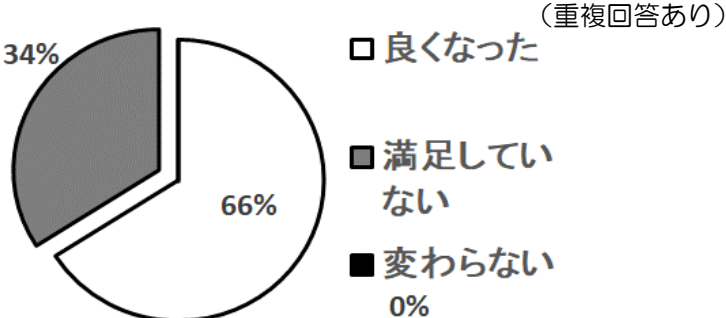
断熱化（壁・床・窓）
断熱サッシ
天井断熱
床下断熱
外壁断熱

- ・柱、梁、壁などを残して内外装を全面的に改修
- ・断熱改修、バリアー化（段差解消、手すり等）
- ・水回り等設備更新（3点給湯、ユニットバス、水洗トイレ等）

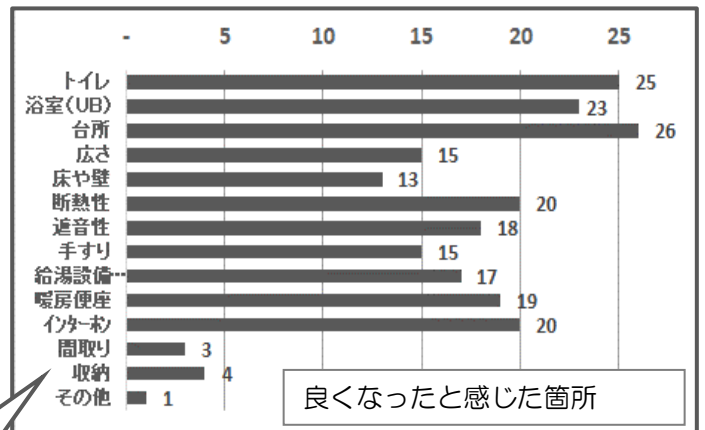
寒い、古い、使いづらい!

【検証】 入居者視点から見た整備効果～従前住戸から移転した入居者アンケート（H31年2月）～

<移転前と比べて住み心地は、約7割が満足>

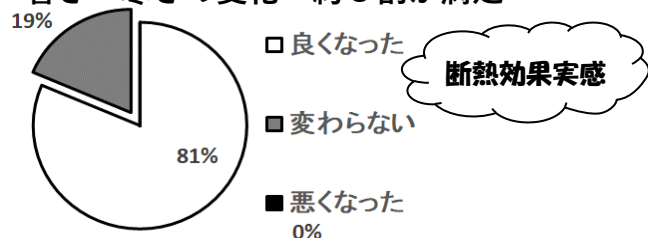


- [良くなったと感じた箇所の意見（抜粋）]
- ・冬暖かい、断熱性が良い（省エネ、エアコンの効きがよい、住みやすい）
 - ・高齢のため手すり、バリアーがありがたい
 - ・脱衣所がありプライバシーの確保
 - ・すぐお湯がでる、清潔、掃除しやすい 等

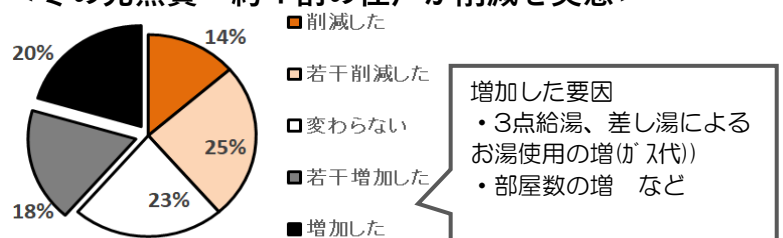


- [改善したほうが良いとの意見（抜粋）]
- ・収納が少ない
 - ・浴室、トイレが狭い
 - ・浴室に追炊きがない（冷める、ガス代高い等）
 - ・台所と洋室の間に仕切り（建具）がない 等

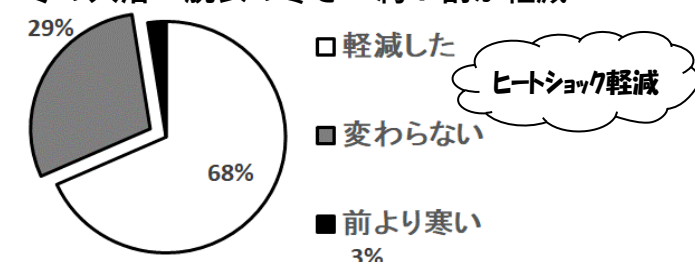
<暑さ・寒さの変化 約8割が満足>



<冬の光熱費 約4割の住戸が削減を実感>



<冬の入浴・脱衣の寒さ 約7割が軽減>



<冬の結露 約9割が減少を実感>

